

平成30年9月25日  
西部農林振興センター県央事務所 農業普及部

標 題	良い牛ってどんな牛？～和牛審査の基礎を学ぶ～
-----	------------------------

(ダイジェスト)

9月20日、県立矢上高校の牛舎において、(公社)全国和牛登録協会島根県支部から講師を招き、和牛審査研修会が開催されました。同校生徒8名と管内若手生産者2名が参加し、和牛審査のポイントを学びました。

9月20日(木)、邑南町の県立矢上高校において、和牛の産肉性や種牛性を外貌から審査する、和牛審査の研修会が開催されました。

研修会は公益社団法人 全国和牛登録協会島根県支部から講師を招き、矢上高校で飼養する牛を用いて、体積、均称、品位、資質、乳徴の審査項目を1つずつ確認する形で実施されました。当日はあいにくの雨のため牛舎内での研修となりましたが、講師からは、牛体の部位ごとに、実際に触ったり別の牛と比較したりしながら丁寧な解説があり、参加者は熱心にメモをとっていました。研修終盤ではその牛の美点や惜しい点などを出題され、生徒たちは悩みながらも、学んだポイントをおさえて回答していました。

矢上高校は、10月20日(土)に島根中央家畜市場で開催される、島根県種畜共進会へ雌牛1頭の出品を予定しています。また、同日開催の和牛審査競技会へも参加することとしており、今回の研修で審査の視点を学んだ生徒たちの活躍が期待されます。

当日参加された管内若手生産者はIターンやUターンで畜産業に従事されており、地域の若い担い手候補である生徒たちにとっては、将来の道筋を考える刺激にもなったのではないかと思います。

農業普及部としても引き続き、情報提供や技術指導などを通して地域の担い手を支援するとともに、新たな担い手の確保・育成にも取り組んでいきます。

